

■ After 建築名称 下段: 英語名	(仮称) 神田錦町オフィスビル再生計画 SAISEI PROJECT OF AN OFFICE IN KANDANISHIKICHO		
建築用途	大分類 事務所	小分類	
改修設計者	再生建築研究所	URL	After 外観
所在地	東京都千代田区神田錦町2-9	Google Map	
改修年	2022年		撮影者 撮影: 楠瀬友将 提供者 提供: 再生建築研究所
建築規模	延床面積: 602.57㎡ RC造 地上6階		概要 after 築53年の違反建築を減築によって適法化し、公共性も備えた5層吹き抜けの空間によってオフィスの価値を高める再生計画
掲載書誌	新建築2022年9月、コンフォルト2022年12月号		
賞・選定			
■ Before 建築名称	岡田ビル		概要 before 容積率の超過、道路斜線不適合などの違法部分と耐震強度や避難経路の既存不適格部分が混在した築53年のオフィスビル
建築用途	大分類 事務所	小分類	
■ 写真 Before	左: リノベーション前の外観 右: 床の減築工事中	After 減築により生まれたスラブの開口部	After 通風・採光を獲得したオフィス
 			
撮影者 提供者	提供: 再生建築研究所	撮影者 提供者	撮影: 楠瀬友将 提供: 再生建築研究所
■ リノベーション内容	キーワード 減築 補強 適法化	内容 神田錦町にある築53年の違反建築を、適法化とともに不動産価値を向上させるための耐震補強や環境改修を行う計画。 違法状態を「減築」により適法化するプロセスによって、建物と周辺の公開空地、両方の価値を高める新たな公共性を生み出すファサードをつくることを試みた。 床の解体による5層の吹抜けと、外壁ラインを後退させることにより床面積を減らしながら、既存のRCフレームはそのまま残すことで、後退させた新しいファサードに既存フレームがオーバーレイした「厚みを持った表層」が公開空地に建ち現れている。 厚みを持った表層は、都市に新たな人の流れを生む公共的な領域を生み出すだけでなく、採光・通風などが不十分な劣悪なオフィス環境を改善する環境装置や安全性を向上させるための避難経路として機能することによって、オフィスや既存公開空地の価値を高める計画となっている。	
■ 備考			
■ 作成者 氏名/所属	再生建築研究所		管理者 記載

